



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：東海林 健登 幹事：武田 岳彦

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区目標 中核的価値観のもと、時流対応の時
～奉仕の心の醸成と実践するロータリアン～

クラブテーマ ロータリーの価値を改めて考え、そして楽しむ

◆点鐘：東海林健登 会長 ◆ロータリーソング：なし
◆司会：浦山 潔 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2922回例会

令和3年9月27日(月)

会長あいさつ

東海林 健登 会長



私は毎朝愛犬とともに散歩を30分ほどするのでありますが、最近とみに秋を感じるようになりました。

「旬」という言葉があります。漢字の「旬」は「10日間」という意味で、中国ではこの意味しかなかったようですが、日本ではそこに「一番良い時期」という意味が加わり、現在は「季節の先取りをするはしり、または初物と呼ばれるもの」「収穫量がピークに当たる時期」「素材の最もおいしい時期」の3通りの違った意味で使われることがあります。私の使う「旬」は、「素材の最もおいしい時期」という意味であります。そこで、これから獲れる庄内浜の魚の話をしてしたいと思います。

秋に獲れるおいしい魚と言えば、すぐ頭に浮かぶのが「サンマ」「サケ」でしょうか。そのような中、今月初めから庄内浜でサワラ漁が始まりました。「庄内おぼこサワラ」と呼ばれる魚です。これまでサワラといえば温暖な海を好む回遊魚で、瀬戸内海などの西日本では春を告げる魚として有名です。まさに「魚」へんに「春」と書いて「鱈(サワラ)」であります。

若いころ、鼠ヶ関に船を置いており、よく船釣りに行っておりました。その頃、この時期によく釣れるのが、いわゆる青ものの「イナダ」「あじ」「さば」「ヒラメ」でした。「サワラ」は全く釣れず、いることすら知りませんでした。日本海を北上する暖流が強くなったために庄内浜にサワラがあらわれる、と言われております。やはり温暖化でいろいろ自然界に影響ができてきているのでしょうか。

庄内浜で獲れる魚介類として季節にて分類すると、春は「サクラマス」。夏は「きす」「岩牡蠣」「アワビ」「スルメイカ」「のどぐろ」「くちぼそカレイ」。秋は「イナダ」「アオリイカ」「サワラ」。冬には「ヒラメ」「マダラ」「はたはた」「ヤリイカ」「ズワイ蟹」という感じでしょうか。

「庄内おぼこサワラ」は「船上活締め神経抜き」という独自の鮮度保持方法で処理されております。食べ方としては、やはり「刺身」と「西京焼き」。私が一番好きな食べ方は「しゃぶしゃぶ」です。

素材が良いのでとても美味しくいただけます。皆さまも旬を楽しんでいただければと思います。

幹事報告

武田 岳彦 幹事

- 今後の例会についてですが、10月例会について、臨時理事会を開きました。10月の例会は12時半から1時10分までの短縮例会とさせていただきます。お弁当は、各自持ち帰りか会場で食べるか、という選択をしていただくような形になります。また10月に予定しておりました地区大会が延期になりました。年間スケジュールとは少し日程が変わっております。25日には延期されましたガバナー公式訪問例会もごさいませ。ぜひ例会の案内をしっかりと見ていただいて、お間違いのないようよろしくお願いいたします。
- 10月3日、7ロータリーゴルフコンペが開催されます。表彰式はごさいませ。景品は後日、各ロータリーさん毎、例会におきましてお渡しすることになりますので、よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

〈9月27日〉

東海林健登会長／9月13日に開催した当クラブの「面会交流支援と「虹の会」事業が9月17日の山形新聞の21ページに報道されました。協力ありがとうございました。

市村清勝会長エレクト

／南アルプス最高峰北岳登頂
9月18日、台風を避けながら日本海側を南下して山梨県北岳に登りました。山頂から見る富士山とご来光のコラボに感動です。

高橋勝治さん

／長瀬恒夫さんをお迎えして
私の義兄の友人、長瀬さんをお迎えし、兄が日頃大変お世話になってますので、今後ともよろしくお願いいたします。

中山真一さん／公安委員会などでお世話になった長瀬さんのご来訪を歓迎し、ニコニコいたします。

角田健さん／球風会にて恥ずかしながら数々の激励賞をいただきました。

9月12日の球風会にて、大波賞、猛打賞、BB賞と恥ずかしながら数々の激励賞をいただけてしまいました。次ははずれる様に頑張ります。

渡辺隆博さん／球風会ご参加ありがとうございました。

24名の参加をいただき盛大に開催できましたので御礼申し上げます。また、個人的にはスコアは悪かったですが、ハンデにめぐまれ優勝という結果にビックリしております。申し訳ございませんが、ニコニコさせていただきます。7RC親善ゴルフコンペもよろしくお願いいたします。



出家してみました

長瀬 恒夫 氏

元山形県警 刑事部長

私は大石田町の生まれであります。新庄北高校を卒業すると山形県警察に入りまして、平成21年に定年で退職をしました。その後、曹洞宗の僧堂に修行に入りまして、足掛け2年修行をしたのでございますが、終わって戻ってこようとした時に山形新聞社のほうから声が掛かり、グループ社の1つの経営をできないかと、富士電子という製造業の会社で7年ほどお世話になって、3年前に退任しております。

今日の話は出家ということについて申し上げたいと思います。出家というと、本来の意味は、世俗から離れます。家族も捨てます。そして仏道に入ります。しかし明治5年に太政官布告令という法律によって、僧侶の妻帯、肉食を許したというところから、かつて江戸の時代まで言われておったような出家ではなくなっておりますね。

私は前職、警察の時代に捜査2課で、もっぱら政治家であるとか公務員の方々の犯罪を担当してきました。50代の時に瀬戸内寂聴がなぜ出家したのかと思ひまして、51歳になったら真似して出家してみようかと思ったんですが、家を作った借金とかそういうものいっぱいあって辞められずに、65歳まで働きました。そういうことで前職の職業を全うしようと一生懸命やりましたが、それはそれとして、やった本人は仕方がないとしても、その家族、奥さんを含め、その苦労たるやいかほどのものだろうかと、しみじみと10年来思って、少し鎮めるために出家でもしてみようかというのが私の歴史であります。

それで、私の実家の菩提寺に2カ月ぐらい弟子として試されるんですね。本当にちゃんと修行についていけるものかどうか、朝4時から起きて夜9時までいろんなこと、朝昼晩のお勤め、畑や田んぼの仕事もやらされます。それでなんとなく本気そうだというようなことになって、得度式というのをやります。ご本尊の前で頭を剃るんです。

曹洞宗の場合、本山永平寺・總持寺は、若い頃から志すような方々、あるいはだいたい寺の子どもさんとか、私のような2軍の人は養成所に専門僧堂として全国に30カ所あります。山形県は鶴岡の善光寺です。

それで、岩手県奥州市の正法寺、新潟県新潟市の大栄寺で足掛け2年修行をしてまいりました。網代笠を被って、袈裟を着けて、わらじを履いて、脚絆をして、そして「入門させてください」というふうに行きます。そうすると、おもむろに出てきた和尚が「何をしにきた」、「修行にまいりました」。「お前のような老いばれは勤まるわけがない。帰れ」。3度ほど繰り返しまして、1時間過ぎてまた来る。また同じことを言われる。そして3回目入門をします。入りますと、1週間、旦過寮という寮がありまして、ここで食事とトイレ以外は全部座禅をやらされます。そういう1週間が過ぎますと、普通の修行になりますね。朝4時か

ら夜の9時まで、戻つく暇ないくらいに、3カ月で体重が15キロ減りましたね。体重の減り方というのを勉強しました。食事は10人に対して3合の米をお粥にして分けて食べます。1カ月ぐらいは目方減らないんです。2カ月目に入ると、毎日ばかりに上がるたびに目方が減ります。また、新入りの弟子は100日間、寺の敷地から出て悪いです。最も辛かったことは正座です。日常は正座なんです。掃除したり、立ったり、拭いたり、以外は全部正座なんです。でも3カ月でやっぱり慣れました。

私は60歳で一番の年上です。若い人は2センチか3センチくらいあるお経の本裏表を、3カ月すれば全部暗唱します。私は1年、2年やって短いお経を4つぐらいしか覚えられませんでした。

もっぱら寺では、トラブル処理担当ですね。檀家同士のトラブルとか、寺と檀家さんのトラブル、結構あるんですよ。どのように収めてくればいいのかということだけ教えて、私はいるわけです。それが面白い。

同時に入門したのは4名です。3月28日の卒業式までおったのは私1人でした。だいたい2カ月か3カ月ぐらいで、朝起きたらいないんです。脱走ですね、だいたい。

何が大変だったかということ、さっき言った正座くらいなものでしたが、食べ物がないんですね。若い人は大変なようでした。私が行った新潟の寺の師匠は、まかないのほうの親方を3年やってきたというわけで、なんと料理が上手ですね。すさまじいです。たくあん漬けなんて今も食ってみたいと思うほど上手です。たくあん漬け作っているそのめしを私黙って盗んで持ってきたもんなんです。

新潟の寺の檀家の寺は雨ざらしでした。一生懸命に奉仕する檀家がありまして、寒くなったらちょっと行ってみますと、鮭何十本か捕まえていました。少し分けてもらえないかというようなことをお願いして、新巻を作りました。干し柿を作ってみんなにあげてみたり、寺の前の畑を少し開放してシソをまいたり。3年何もすることがない、それでどう過ごせばいいのかと、何やっても達成感というか満足感もない。

やはりここ1年ぐらい、皆さんがすでにやられておられる奉仕といいますが、ボランティアなんだろうなということに気が付かしまして、地域内でグループを持ちまして、奉仕の清掃に力を入れる。そして将来は東屋でも作って、地域の憩いの場にしましょうというようなことです。あと10年ぐらいかかりそうですけれども、そんなことをやっていたら、なんとなく人生を過ごせるのではないかというようなことを少しは思っています。



本日出席 (9 / 27)	会員総数	出席会員数
	99名	64名 + ズーム参加6名